



大通り秋まつりでのもちつき（10月15日）

- 加茂市サッカー場が完成 ..... ②③  
■ 加茂川ブルース CD発売中 ..... ④  
■ 加茂川ブルース・加茂川慕情  
　　全国大会を開催 ..... ⑤  
■ 歯の健康「歯性上顎洞炎など」 ..... ⑥  
■ 総体の結果 ..... ⑦  
■ 加茂の風土記「小学校の始まり(二)」 ..... ⑧

主な内容

# 加茂市サッカー場が完成 ピッチには総天然芝



竣工記念式典後に行われた市内中学生チームの親善試合

十月十五日、加茂市サッカー場の竣工式が行われました。加茂市サッカー場は、下水道浄化センター内にあり、七十二m×百三十八mの敷地内に百十五m×六十七mの天然芝が張られています。試合ができるよう十分なスペースが確保され、周囲には高さ五mのネットが整備されています。

式典では、小池清彦市長が「未使用となつている下水道施設の土地を利用してるので土地取得の費用がかかつておらず、遊休地の利用という点でうまく建設できたと思う。市内には新潟経営大学と加茂暁星高校のサッカー場があり、ことと合わせて三カ所のサッカー場が揃い、余裕をもつて競技会を開催できるでしょう。将来には、加茂からプロ選手、日本代表選手が誕生するのが楽しみです」とあいさつしました。



小・中学生チームにリフティングを指導



模範演技で指導してくださいった  
新潟経営大学の杉山学監督と部員の皆さん



親善試合の様子



シュートの指導をする新潟経営大学サッカー部



小学生チームによる親善試合

続いて、来賓としておいでになつた菊田まさこ衆議院議員、金谷国彦県議会議員、関龍雄市議会議長と堀井文大新潟経営大学サッカー部総監督がお祝いの祝辞を述べられました。

式典の後、市内小中学生のサッカー選手を前に、新潟経営大学サッカー部の杉山学監督と部員の方から模範演技と指導をしていただきました。リフティングやシュートの指導を受けた子どもたちは、ボールと身体の一体感を大切にするように教わったようです。そして、小学生、中学生の親善試合四試合が行われ、市内サッカー選手たちと完成を祝いました。

サッカー場の利用申し込みは、社会体育係（勤労者体育センター内）電話53-2206へ。

# 加茂川ブルース（美川憲一）が 全国版になりました

平成十三年七月に「加茂川ブルース」（美川憲一）、  
「加茂川慕情」（真咲よう子）のCDシングルとカセット  
トテープが発売されました。これは、まだ全国版には  
なっていませんでした。

その後「加茂川ブルース」は、平成十六年に全国版と  
なり、「時という名の岸辺で」と一緒に、どちらもA面  
でCDに収録されています。このCDを市役所、各コミュニ  
ティセンター、加茂美人の湯、みやげものセンターで  
販売しています。

「加茂川ブルース」「加茂川慕情」は、通信カラオケ  
でも配信されていて、全国で歌われるようになりました。

十月には、「加茂川ブルース」「加茂川慕情」全国大  
会も加茂文化会館で行われました。



# 第25回市民カラオケ大会

加茂川ブルース・

加茂川慕情全国大会



加茂川慕情部門優勝の大田美代枝さん



加茂川ブルース部門優勝の小部山勲さん

十月二十二日、加茂文化会館で市民カラオケ大会が行われました。大会は二十五回目を数える節目となりましたが、今回は、加茂を代表する歌となりつつある「加茂川ブルース」「加茂川慕情」の全国大会もあわせて開催されることになり、市内外から「のど自慢」の皆さんのが集まりました。審査委員長には、「加茂川ブルース」「加茂川慕情」作曲者で「新潟ブルース」の作曲者でもある山岸之起先生が当たられました。市民カラオケ大会の一般の部には三十六名が出場しました。加茂川ブルース・加茂川慕情全国大会には各地から極めてレベルの高い二十三名が出席しました。

結果は下記のとおりです。

## 第25回 市民カラオケ大会 入賞者

優 勝：「寒椿」山口晴市さん(赤谷)

準優勝：「いたわり」坂井勇介さん(赤谷)

敢闘賞：「春蟬」坂内ミチ子さん(田上町)

市長特別賞：「ひばり…に恋して」牧ひかり さん(五泉市)

審査委員長特別賞：「夕焼けわらべ」五十嵐文夫さん(田上町)

館長特別賞：「海の匂いのお母さん」五十嵐禎夫さん(上条)

## 加茂川ブルース・加茂川慕情 全国大会 入賞者

### 「加茂川ブルース」部門

優 勝：小部山勲さん(上大谷)

準優勝：真保博幸さん(学校町)

敢闘賞：諸橋誠さん(見附市)

### 「加茂川慕情」部門

優 勝：太田美代枝さん(三条市)

準優勝：那須野ハルイさん(燕市)

敢闘賞：馬場和枝さん(三条市)

# 歯の健康

## 歯が原因の蓄膿症や 原因不明な歯の痛みについて

### 歯性上顎洞炎など

人体に生理的にある腔内に化膿性炎症が生じ濃汁がたまっているのを蓄膿といいますが、顔面（上顎）にも鼻の周囲に上顎洞、篩骨（しこつ）洞、前頭洞、蝶形骨洞と呼ばれる空洞（副鼻腔）があり、この部位の内面の粘膜が感染して炎症を生じたものが副鼻腔炎です。

ところで歯科と関係が深いのは上顎洞で、歯の根の先がこの空洞に近いので、歯及び歯周組織の炎症が容易に上顎洞に移行します。特に小白歯、大臼歯のむし歯から歯髓が感染し、そこの炎症が上顎洞の洞底の骨を溶かしていくば容昜に上顎洞の粘膜も感染し、上顎洞炎を併発してしまいます。

このように歯の炎症から上顎洞の炎症を起こしたものをお『歯性上顎洞炎』と呼びます。決してまれなものではなく、上顎洞炎の一割ほどを占めるともいわれています。

症状としては、頬部の痛み、偏頭痛、頭重感、眼痛、鼻漏、鼻閉、臭覚減退、などの上顎洞炎の症状と同じなので耳鼻科を受診して歯が原因であると指摘されることが多いのですが、顔が腫れたり、歯の痛みで歯科を受診してレントゲンを撮影して上顎洞まで炎症が広がっていると指摘を受けることもあります。歯科にはパノラマレントゲン写真というのがあり、歯と上顎洞の関係がすぐわかりますので診断は容易です。

逆に、歯痛で歯科を受診し、歯が原因ではなく、上顎洞炎と診断され、耳鼻科に紹介されることもあります。

虫歯もないのに歯が痛いときには、この上顎洞炎を歯科医は疑います。ついでに述べますが、上顎洞の腫瘍（悪性も良性もあり）が原因で歯痛を生ずることもあります。左下の奥歯の痛みは心筋梗塞の放散痛の場合もまれですがありますので注意が必要でしょう。すなわち、歯の痛みも原因は歯ばかりではないことを覚えていてほしいと思います。

シソーノーロー（辺縁性歯周炎）が進行して周囲の骨をとかしても歯性上顎洞炎は起りますので、虫歯がないからといって安心はできません。

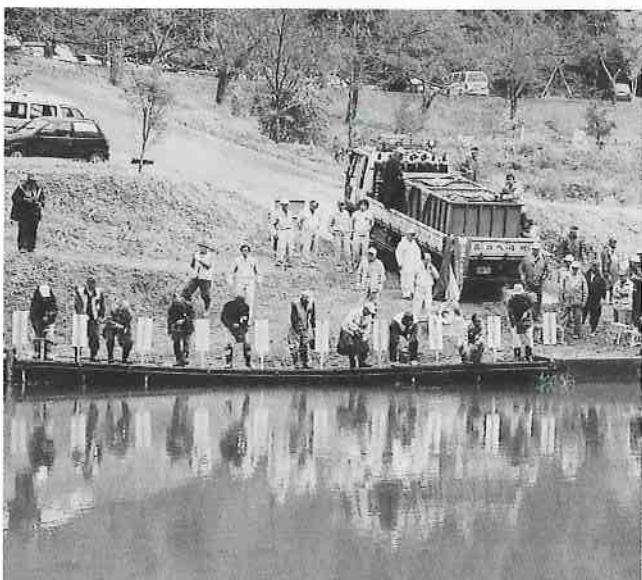
（加茂市歯科医師会）

## カメラスケッチ



健康ウォーク（10月29日）

今年は、住宅地周辺へのクマ出没があり、コースを一部変更して行われました。ゴールのスキーガーデンでは、温かいトン汁と加茂特産の新高梨が参加者に手渡されました。



へら鮎放流（10月29日）

下条川ダムは、極めて魚影の濃いへら鮎釣りの名所として全国に知られています。今年は、加茂市が用意した約2トンのへら鮎が、愛好者たちの手によって放流されました。



## 小学校の始まり(一)

明治五年(一八七二)の「学制」で近代教育が始まったが、小学校建設の費用をはじめ、維持運営費もすべて学区の自弁であった。このため、直ちに小学校ができるわけではなく、また就学率も低かった(六月号参照)。

下条村は、保内村(三条市)と川沿いの天神林村・山島新田・加茂新田とで小学校区を構成し、下条に本校、保内に第一分校、天神林の岡潜太家を借家して開学した。

この学区は、維持運営費に苦しんで、それを設置することになった。

本・分校あわせて四校を抱えた加茂新田分校も六年三月に旧庄屋の岡潜太家を借りて開学した。

下条村は、保内村(三条市)と川沿いの天神林村・山島新田・加茂新田とで小学校区を構成し、下条に本校、保内に第一分校、天神林

負担区分をめぐっての紛争が続いた。結局十四年には、新潟県の仲裁で、保内・加茂新田両分校が分離することになった。

加茂新田は、翌年に保明新田(田上町)と組合を作り、同村の旧庄屋宅を借りて「日新校」を開学させた。川西集落を新たに学区としたことから、天神林校の経費負担をめぐって紛争となつた。その日新校も資金が集まらないと「新潟新聞」にあり、十七年には火災で焼失した。翌年、保明新田との学校組合が分裂し、単独で小学校を維持する羽目となつた。全国的なデ

■優良自治防犯表彰  
■山際平吉さん(番田自治防犯会長)  
■西加茂防犯協議会

山際さんと西加茂防犯協議会は「犯罪のない安全で安心なまちづくり県民大会」で、日ごろの地域防犯活動の取り組みにより、新潟県防犯協会と新潟県警察本部から表彰されました。

ふりかごとく

### 社会福祉費寄附金

▼草野哲さん(故・草野資朗さんのご遺族 松坂町)から 十万円  
▼北陸ガス株式会社から 三万九千百円

### 人口のうごき

10月1日現在
世帯 10,012 (+ 4)
人口 32,147 (-14)
男 15,540 (-11)
女 16,607 (- 3)
( ) 内は前月比
(9月異動分)
出生 15 (男 7 女 8)
死亡 20 (男11 女 9)
転出 40 転入 31

十六年に下条校が新築されたが、建築費負担を恐れる村民に配慮して、重立ち層が九割近くを工面したと「新潟新聞」は賞賛している。国が教育経費を拠出しなかつたのである。

本・分校あわせて四校を抱えた加茂新田分校も六年三月に旧庄屋の岡潜太家を借りて開学した。

この学区は、維持運営費に苦しんで、それを設置することになった。

本・分校あわせて四校を抱えた加茂新田分校も六年三月に旧庄屋の岡潜太家を借りて開学した。

この学区は、維持運営費に苦しんで、それを設置することになった。



天神林・天満宮にある天神林分校沿革の碑